

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

児童数	32
学校	栄小

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.20	15.27	27.73	28.00	28.53	9.82	143.36	18.47	44.15
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	18.00	15.58	36.29	28.46	26.25	9.78	138.62	15.46	50.82
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子は、握力が大阪市平均、全国平均を上回っていた。一方、それ以外の7項目については、大阪市平均と全国平均を下回っていた。体力合計点は、大阪市平均を6.98ポイント、全国平均を8.44ポイント下回った。女子は、握力が大阪市平均を2.12ポイント上回ったが、全国平均を1.99ポイント下回った。ソフトボール投げは大阪市平均、全国平均を上回った。それ以外の6項目については、大阪市平均と全国平均を下回っていた。体力合計点は、大阪市平均を1.85ポイント、全国平均を3.46ポイント下回った。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況については、男子は肯定的な意見が80%で、大阪市平均、全国平均を下回った。女子は、肯定的な意見が66.7%で、大阪市平均、全国平均を下回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合については、男子が20%、女子が26.7%だった。1週間の総運動時間が420分以上の割合は、男子も女子も、大阪市平均と全国平均を下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度もこれまでのかけあし月間や大なわ大会の取組を継続し、体力向上を図ってきた結果、学校全体では運動場で遊ぶ児童が増えている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況を見ると、肯定的な意見において男子は80%に達しているが、女子は67%のため、男女間で意識の差があることがわかる。「運動は大切か」の質問でも、男子は肯定的な回答が90%を超えており、女子は肯定的な回答が73%であり、27%の女子は否定的な回答をしている。また、「体育の授業は楽しい」と肯定的にとらえる児童は、男子は100%であるが、女子は67%にとどまっている。学校全体では、高学年が運動場で遊ぶ姿が少ない傾向があり、特に女子に運動の楽しさを伝えていくための工夫や意欲づけが必要である。

各運動週間や強調週間ににおいて、「がんばりカード」を活用するなど、児童のがんばりを可視化しながら取組を推進してきた。遊びの要素を多く取り入れて体を動かす楽しさを味わわせたり、縦割り班活動や運動集会の内容を充実したりしながら、児童が体を動かす喜びや楽しさを感じられるようになることが大切である。